

**公益財団法人日本バスケットボール協会**  
**平成26年度 第9回理事会 議事録**

**日 時:** 平成27年1月11日(日) 10:00~12:30

**場 所:** 国立代々木競技場 会議室

**出 席:** <理事>

梅野哲雄、西川和人の各副会長、星芳樹専務理事、青木隆、河内敏光、熊谷秀樹、倉石平、小坂悦夫、佐々木三男、鮫島俊秀、品田奥義、庄司義明、高橋雅弘、西井歳晴、野村俊郎、橋本信雄、原田茂、林直樹、福井晴次、堀井幹也、森野和泰、吉田長寿、吉田利治の各理事

<監事>

榊原みどり、高原洋太郎の各監事

<特任委員>

内山英司、小倉恭志、片山正明、坂本昌彦の各特任委員

**欠 席:** 丸尾充副会長、岸本和巳の各理事

**オブザーバー:** 金井克仁弁護士、望月浩一郎弁護士、境田正樹弁護士

**議 題**

- (1) FIBA指摘事項関連について
- (2) 日本体育協会次期理事候補者および評議員候補者の推薦について
- (3) 上級審判昇格審査について

---

**1. 定足数の報告**

吉田(長)理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(25名)の過半数の出席数(出席:23名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

---

**2. 挨拶**

梅野副会長(会長職務代行)より開会の挨拶があった。

---

**3. 議事**

議長は梅野副会長(会長職務代行)が務めた。

**(1) FIBA指摘事項関連について (星専務理事他)**

①総括等

<リーグ関連>

・統一リーグに関する総括として、第三者(有識者)新リーグ組織委員会に参画していた杉山氏および小寺氏からのレポートが資料に基づき報告され、理事会に対する意見については、真摯に受け止め、今後の

指針等に生かしていくことが確認された。

・高原監事を中心に行っているNBL、bjリーグのリーグおよびチームの財務状況調査について口頭にて報告され、今後についてはタスクフォースの動向を見ながら対応することとなった。

#### <全般>

・総括の一環として、2013年12月のFIBA/バウマン事務総長来日から2014年12月18日の理事会までの関連する主な経過が資料に基づき報告された。

・総括する前提として、FIBAの方針を改めて認識するため、2006年以降のFIBAの方針、実状およびそれに伴うFIBA定款改定のポイントが資料に基づき報告された。

・FIBAのアドバイスを受け実施した外部コンサルタントからのレポートのサマリーが資料に基づき報告された。

・JBA全体としての総括のたたき台が報告され、これを元にさらに精査していくことが確認された。

・関連する内容として、文部科学省の委託事業として実施されているスポーツ団体のガバナンスに関する協力者会議から示された「NFガバナンス強化支援策(案)の概要」が資料に基づき報告された。

#### ②前回理事会後の進捗報告

12月26日、1月4日、1月10日に緊急対策本部会議を実施し、法務、財務等の専門知識やアドバイスが必要であることから、JBAの代理人として山崎卓也弁護士に、アドバイザーとして別途2名の弁護士に委託することを決定したこと、制裁解除の明確な条件、タスクフォースの業務範囲および関連する費用負担等について明確にするためにFIBAへレターを発信したこと、タスクフォース立ち上げまでにやることとして、緊急対策本部の下にアドバイザーの弁護士を主にした作業チームを作って問題整理やリーグ関係者へのヒアリング等を実施すること等が報告された。

#### ③タスクフォース関連

・タスクフォースに推薦するJBA代表のメンバーは梅野会長職務代行とすることが提案され、承認された。

・タスクフォースに関する費用見込みとして、現時点での概算見込として今年度1200万円、次年度1800万円の試算があり、執行状況を踏まえた予算の見直しを行う中で今年度は1200万円の費用を計上すること、追加の支出が見込まれる場合には再度理事会に審議すること、4月以降にかかる費用については次年度予算に組み込むことが提案され、全て原案通り承認された。また、タスクフォース関連費用を含む今年度の決算見込みはマイナス600万円となっており、引き続き事業費の節減に注力し、最終的には収支均衡を目指す方向であることが説明された。

<承認>

#### (2) 日本体育協会次期理事候補者および評議員候補者の推薦について (吉田(長)理事)

日体協の次期理事候補者および評議員候補者について、理事候補者は星専務理事、評議員候補者は吉田(長)理事/総務部長とすること、尚、星専務理事が理事に就任できない場合には手続き上可能であれば評議員候補者を星専務理事に切り替えることが提案され、原案通り承認された。

<承認>

#### (3) 上級審判昇格審査について (吉田(利)理事)

平成26年度の強化合宿等を経て、AA級に8名(男性5名、女性3名)、A級に24名(男性18名、女性6名)の昇格者の推薦があり、原案通り承認された。

<承認>

#### 4. 報告事項

(1) 一般報告 (吉田(長)理事)

2014年11月、12月の諸会議等の開催実績が報告された。

(2) 総務部 (吉田(長)理事)

次回理事会の開催予定、最新のチーム加盟数・競技者登録数の状況、FISU(世界大学スポーツ連盟)の技術役員に国際部川島を推薦すること、日本車椅子連盟から申請のあった「2015国際親善女子車椅子選手権大会」の後援名義申請について規定に基づき使用許可を行ったこと等が資料に基づき報告された。

(3) 国際部 (橋本理事)

FIBAから国内トップレベルの大会におけるFIBAオフィシャル・バスケットボール・ルールの適用に関する調査があり、2015年夏前に開催されるFIBAセントラルボードで本件に関する報告および決定が行われる予定であること、2018年の女子の世界選手権については開催地がスペインに決定し、名称も男子同様ワールドカップに変更になったこと等が資料に基づき報告された。

(4) 審判委員会 (吉田(利)理事)

「国際審判員研修会」「国際審判員早期育成プロジェクト」の開催概要が資料に基づき報告された。

(5) 男子強化戦略委員会 (堀井理事)

アンダーカテゴリーのヘッドコーチ(専任コーチ)の公募の結果、13名の応募の中から強化戦略委員会にてトーステン・ロイブル氏を候補者として選定したこと、ヘッドコーチ(専任コーチ)としての契約はタスクフォースの動向を踏まえた上で行うこととし、トーステン・ロイブル氏については、当面現状のスポーツディレクターとして継続手続きを行うことが報告された。

(6) 男子代表チーム委員会 (堀井理事)

男子U-18日本代表チームの第4次強化合宿に参加するスタッフおよび選手が資料に基づき報告された。

(7) 指導者育成委員会 (倉石理事)

2015年度から実施するコーチライセンス義務付けに伴い、交通機関の遅れや急病などの不測の事態が生じた際の対応方針(案)が資料に基づき報告された。

これについては、共通理解が図れるよう具体例を加えた上で再度提出することとした。

(8) その他

・平成26年度全国理事長会議について (吉田(長)理事)

1月12日に開催する平成26年度全国理事長会議の予定が報告された。

・NBL関連について (吉田(長)理事)

NBLから経営難による和歌山トライアングルの退会に関する報告があったこと、今後については1月14日に開催するNBLの理事会・総会にて決定する予定であることが報告された。

・東京オリンピック・パラリンピック関連について（吉田(長)理事)

東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ候補地については、1月15日に東京オリンピック・パラリンピック組織委員会から応募要項が公表されること、バスケットボールキャンプ候補地の申請についてはJBAを窓口として申請を受ける方法をとることが報告された。

以上